

「第2回 春光台・鷹の巣まちづくり推進協議会」を開催しました

- 開催日 令和3年12月8日(水) 18:30～19:50
□場所 春光台公民館 1階 講座室

- 委員15名
(出席者12名)
□事務局
・公民館職員3名
・地域まちづくり課3名



= 推進協議会での主な内容 =

【3事業の次年度の方向性に関する考え方】

(ア)子ども支援事業

- 今までの各学校に対する学習支援では、何らかの形で子どもたちと間に良いコミュニケーションを図ることができたので、今後は学習支援にこだわることなく、子どもたちと触れ合う機会を継続して行けたらよいと思う。
- 学習支援以外にも学校に対して協力できることがあると思うので、検討してみてもどうか。

(イ)高台通学合宿事業

- 会場となっている公民館は、宿泊設備が乏しく、洗面所やトイレなどの問題があり、就寝時に子どもたちを管理をする人材も不足しているなどの課題がある。
- 施設の設備や実行委員の負担などを考慮した上で、この事業については、今後慎重に検討していかなければならない。

(ウ)多世代ふれあい交流会開催事業

- 人と人とのつながりを深めるための事業なので、どうしても密接になることが避けられない。
- 会場と参加人数の関係で、今の状況での実施は難しいと思うが、来年の9月から10月までには状況が変わってくるかも知れないので、準備を進めながら状況を見ていくことがいいのではないかと考える。
- 老人クラブの活動が衰退してきていることについて、協議会としても考えていかなければならない。

【コロナ禍における新規事業について】

- ある程度の規模で事業を実施するのであれば、屋外で実施できるものを考えてはどうか。
- 春光台・鷹の巣地域のウォーキングマップを利用して、みんなでウォーキングを行う事業を計画してはどうか。
- 平成26年に協議会で編集をした「地域の防災心得」を現在の状況に合ったものに改訂するなど、地域の安心・安全に関する部分を充実させていく必要がある。
- 今の世論の中で、ワクチンを接種していない人や接種できない人への対応が難しい。

【「道ありき」春光台における足跡「坂」の名称命名事業終了報告】

- 石碑の維持・管理と春光台公園の利用のあり方に関する課題が残されているが、このことについては、春光台文学の小径友の会が事業を引き継いでいく。
- 実行委員会については、3月の末日をもって解散する。
- 石碑の維持・管理に関しては、3年毎に石碑の設置認可を受けるための申請を出さなければならないことと賠償保険に加入しなければならない。
- 春光台公園のあり方については、市議会の中でも議論がされ、旭川市全体の公園について、効果的な利用が促されるよう、そのための協議を進めていきたいとの回答があった。また、公園の特性などを踏まえ、学識経験者、観光や商工関係者、自治会、愛護会など、公園を利用している住民団体などで構成した体制づくりを進め、魅力ある公園づくりに努めていきたいとのお話があった。